

基礎〈基礎〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
人間学 2	ET/PC	11213	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
芝山 豊	必修	2			

授業の到達目標

キリスト教的価値観を土台とした本学での学びの中で、人格的に成長していくため、人間としての営みをさまざまな角度から理解し、深めていく。KAISEIパーソナリティのすべての要素をてがかりに、建学の精神を体得し、人間として、女性としての存在の主体的意味を発見する。
このクラスではKAISEIパーソナリティの全体について理解を深めるが、とりわけ、I（知性）とIn（国際性）を養うことを目指す。

授業の概要

身近な体験を通して、「問題」と「神秘」を峻別しつつ、人間存在について多様な角度から考察する。「ビッグバン」から「欲望の資本主義」の時代まで、時の流れの中の「いのち」について、人間がどのように理解し、生きてきたのかを、通時的、共時的な文化の側面から考察し、環境、家族、地域社会、国家等とのかかわりへの理解を深めていく。さらに、「生きることとは何か」、「人間の尊厳とは何か」などを自らに問いかけることによって、人生の旅を探索していく。知的な問いかけだけではなく、内的な精神の営み、超越的な存在への問いかけもとりあげていく。

授業計画

1. 人間学とは何か
2. 存在の神秘
3. 他者とは誰か
4. 人間の誕生から死まで
5. 人種・民族・国民
6. 正義と平和
7. 宗教と科学
8. 異文化理解と文化共生
9. 伝統と近代化
10. 環境問題と「ラウダート・シ」
11. いのちを脅かすもの
12. 自助・公助・共助
13. ケアの文化とケアの倫理
14. 人間の尊厳
15. 海星で学ぶということ

授業の方法

講義とディスカッションを土台とし、討論に基づいた発表の時間をとる。また、グループや個人による課題研究、ロールプレイング、プレゼンテーション等を課す。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

①課題について、各時間に提出されるレポートに基づきグループ討論を行い、発表を実施する。その後各レポートを評価し、全体のフィードバックを行う。
②評価方法、平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席の評価を成績評価全体の15%とし、出席評価は欠席1回につき20%減するものとする。

テキスト

配布プリント及び電子ファイル、映像等を使用する。

参考図書

日本カトリック司教団「いのちへのまなざし 増補改訂版」カトリック中央協議会
鷺田清一「死なないでいる理由」角川ソフィア文庫
林典子「人間の尊厳——いま、この世界の片隅で」岩波新書
教皇フランシスコ「回勅 ラウダート・シ」カトリック中央協議会
三田一郎「科学者はなぜ神を信じるのか」講談社ブルーバックス
芝山豊「新訂 共生のための文化学」文化共生研究会（2019年 電子版）

留意事項

自己と他者に関心を持ち、世界の出来事に興味を持ち、現代社会を注視すること。また日本と世界の歴史について理解し、人生に対する自らの姿勢を意識すること

総合科目〈総合科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キャリアデザイン入門	ET	11301	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
前田 典子	必修	2	大学キャリアコンサルタント		

授業の到達目標

充実した学生生活を過ごすために自己のキャリアについて考えて行動できるようになることが到達目標である。具体的には①キャリア＝仕事（人生）のビジョンを言語化、文章化できるようになる。②キャリア＝仕事（人生）に関する考え方や希望を把握できるようになる。KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

授業の概要

生きていくうえで、いろいろな出会いがある。人、社会、仕事、そして自分。
出会いを中心にして、これからのキャリア＝仕事（人生）を考えていく。

授業計画

1. 学長による講義
2. 適性検査の実施
3. 人との出会い① 出会いのワーク①
4. 人との出会い② 出会いのワーク②
5. 人との出会い③ コミュニケーション演習
6. 社会との出会い① 社会に出るとは？
7. 社会との出会い② 業界研究
8. 社会との出会い③ 業種・職種・雇用形態
9. 適性検査の結果報告
10. キャリアセンター員による講義 本校のキャリア教育
11. 学科教員による講義 将来のために今すべきこと
12. 自分との出会い① ライフパワーグラフ
13. 自分との出会い② 現在の私は？未来の私は？
14. 自分との出会い③ キャンパスライフプラン
15. まとめとテスト(作文)

授業の方法

講義（聴く）グループワーク（話す）を中心に、ワークシートへの記入（書く）を行う。聴く・話す・書くを中心に発表（プレゼンテーション）までつなげる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

課題・グループ・個人発表後は担当教員によるフィードバックを行う。
評価方法・平常点70%、定期試験30%

欠席について

規定に従う

テキスト

プリント配布

参考図書

随時紹介する

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キャリアデザイン入門	PC		11301	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
前田 典子	必修	2	大学キャリアコンサルタント			

授業の到達目標

充実した学生生活を過ごすために自己のキャリアについて考えて行動できるようになることが到達目標である。具体的には①キャリア＝仕事（人生）のビジョンを言語化、文章化できるようになる。②キャリア＝仕事（人生）に関する考え方や希望を把握できるようになる。KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

授業の概要

生きていくうえで、いろいろな出会いがある。人、社会、仕事、そして自分。出会いを中心にして、これからのキャリア＝仕事（人生）を考えていく。

授業計画

1. 学長による講義
2. 適性検査の実施
3. 人との出会い① 出会いのワーク①
4. 人との出会い② 出会いのワーク②
5. 人との出会い③ コミュニケーション演習
6. 社会との出会い① 社会に出るとは？
7. 社会との出会い② 子どもを取り巻く社会情勢
8. 社会との出会い③ 業種・職種・雇用形態
9. 適性検査の結果報告
10. キャリアセンター員による講義 本校のキャリア教育
11. 学科教員による講義 将来のためにすべきこと
12. 自分との出会い① ライフパワーグラフ
13. 自分との出会い② 現在の私は？未来の私は？
14. 自分との出会い③ キャンパスライフプラン
15. まとめとテスト(作文)

授業の方法

講義（聴く）グループワーク（話す）を中心に、ワークシートへの記入（書く）を行う。聴く・話す・書くを中心に発表（プレゼンテーション）までつなげる。

準備学修

日ごろから自分の将来について考える習慣を身につける。社会の出来事に関心をもつ。ニュースに触れる（新聞・TV・ネット）ことで自分はどう思うのか？問いかけ考える時間を毎日20分程度とする。

課題・評価方法

課題・グループ・個人発表後は担当教員によるフィードバックを行う。
評価方法・平常点70%、定期試験30%

欠席について

規定に従う

テキスト

プリント配布

参考図書

随時紹介する

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
文学入門			11309	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	選択	2				

授業の到達目標

近代の文学作品を進んで読むことができるようにする。近代という時代が、過去とも現代ともつながった時空であることを理解し、自らの視野を広げる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

日本の文学に登場する異界について考察する。日本の古典も参考にしながら、近代・現代作家の作品を講読したい。また、近代の文学が、現代の映像文化へどのような影響をあたえているかも、加えて考察する。神々や妖怪ら、異界のもの達に託された日本文化の一面にも注目する。

授業計画

1. 泉鏡花「龍潭譚」と「千と千尋の神隠し」(その1)
2. 泉鏡花「龍潭譚」と「千と千尋の神隠し」(その2)
3. 泉鏡花「龍潭譚」と「千と千尋の神隠し」(その3)
4. 泉鏡花「龍潭譚」と「千と千尋の神隠し」(その4)
5. 佐藤春夫「西班牙犬の家」と「耳をすませば」(その1)
6. 佐藤春夫「西班牙犬の家」と「耳をすませば」(その2)
7. 萩原朔太郎「猫町」と「猫の恩返し」
8. 永井荷風「狐」と「もののけ姫」(その1)
9. 永井荷風「狐」と「もののけ姫」(その2)
10. 永井荷風「狐」と「もののけ姫」(その3)
11. 中島敦「悟浄歎異」と「バケモノの子」
12. 中島敦「悟浄出世」と「バケモノの子」
13. 中島敦「李陵」と「バケモノの子」
14. 中島敦「名人伝」と「バケモノの子」
15. まとめと試験

授業の方法

作品講読と関係資料映像の鑑賞が中心となる。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法

毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。
平常点70%、定期試験30%

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて随時紹介し、プリントを配布する。

参考図書

必要に応じて随時紹介する。

留意事項

授業中に鑑賞する映像は、あくまで、文学作品を理解するためのものである。そのため、授業中では、一部のみしか鑑賞しない。文学に興味がある学生の受講を望む。

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。